



<教育目標>

自らの力をじゅうぶん発揮し、**主体的**に取り組む生活を

今と将来にわたって実現する児童生徒の育成

【附属特別支援学校の3使命】

- 教育研究
特別支援教育の向上発展に寄与する研究
- 教育実習
教師の魅力ややりがいを感じる実習
- 現職研修
教師としての資質と専門性向上につながる研修

【子どもの願い】

- ・思いっきり遊んだり、活動したりしたい
- ・いろいろなことをしてみたい
- ・友だちや先生といっしょに、楽しみたい
- ・みんなが楽しい学校にしたい

【学校長の願い】

- ～今日に満足し、明日を楽しみに待つ学校～
- ・一人一人の可能性が最大限伸び、誰もが自分らしく輝く学校に
- ・子どもたちの「やりたい」を育て、支え、実現していく学校に(願いの実現)
- ・子どもや保護者、地域の期待に応える学校に

<みんなの合言葉>

「『自分から 自分で せいっぱい』 願い実現 楽しい附特」

小学部

遊び込む児童

中学部

打ち込む生徒

高等部

働き込む生徒

子どもの願いを大切にしたら子ども主体の生活づくり

児童生徒理解を大切にした授業づくり

児童生徒の思いに寄り添う支援

教師の連携
(チームティーチング)

できる状況づくり

「共同生活者」としての教師の在り方

令和8年度 重点項目

- ①「子ども主体の生活づくり」のさらなる充実 (自立活動や教科等のねらいを踏まえ、公立校や地域への還元)
子ども主体の授業づくり、第13期研究の推進、公開研究会・EDU×NEXT×NAGANO(ENN)の開催
研究テーマ:『「ひと」との結びつきを深め、「ひと」と共に生きる児童生徒』(公立校を巻き込んだ研究)
生単・作単、PLUS、日常生活の指導のさらなる充実
- ②家庭との連携を基盤とした生活づくり、PTAとの連携の推進 (ともにつくる学校に)
授業参観や各懇談会の充実、保護者同士の情報交換等の実施、PTA・あすなる会との連携
保護者・家族の交流の場の設定や保護者の意見交換の場の設定等、寄せられた会員のアイデアの試行
- ③キャリア教育の推進 (その子なりの自立を目指して)
キャリア教育の視点を踏まえた小学部から高等部を通した進路支援の充実、実社会での体験機会の充実、
社会とのつながり実感の創出
就労支援・卒業後の生活を豊かにする活動の充実(喫茶実習等)
- ④開かれた学校づくり、共生社会の実現をリードする学校づくり
魅力発信(本校の魅力を地域、全国へ発信)、医療や福祉など関係諸機関や地域との一層の連携
附属長野三校の子どもたちの互恵的・協働的な学びの実現 (交流学籍を生かす)
文科省モデル事業「インクルーシブな学校運営」の実施と充実(R6~8) (子どもを真ん中に)
- ⑤安全安心な学校生活
すべての人の人権を尊重した学校、危機管理意識の向上、災害時の対応等の保護者・学部との連携、教育環境改善
- ⑥みんな(子ども・保護者・教員)の幸せを目指す教員の働き方改革の推進

【「わくわくプロジェクト」による新たな運営方針】

- 附特のよさを再発見し、児童生徒も教員もわくわくする取組の実現。
- 質を高め、精選を図り、効果的な教育活動につなげるための具体を提案する。
 - ・教育実習
 - ・教育研究推進
 - ・学校運営

(教材・支援・子どもと向き合う時間の充実)

【学校評価、キャリア教育推進委員会による評価を運営に生かす】

- 重点目標に対して、成果と課題を明確にする。
〔来年度につながる自己評価の充実〕
- 学校評議員会の開催と機能の充実
- 学校運営委員会(保護者代表と懇談)の開催
- 学校自己評価実施(教師、保護者、地域の支援者、学校評議員)
 - ・評価結果の公表
 - ・児童生徒による評価の実施
- キャリア教育の推進と評価

【関係諸機関との連携】

- 放デイや療育の見学、連携。支援関係諸機関からの提案や助言を支援に生かす。
- 実社会での体験を重視し、労働・福祉関係機関との連携により、本校のあるべき進路支援、卒後支援の充実を図る。

【教育学部との協働】

- 放課後活動支援事業「げんきクラブ」
- 共同研究の実施
- 教職大学院との連携